2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014年 2月 15 日作成)

	(2014年 2万 13 日下級)		
小委員会名	建築ストック社会の火災安全小委員会		主 査 名 : 鍵屋浩司 就任年月 : 2011 年 4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火本委員会		委員長名 :山田常圭
設置期間	2011年 4月 ~ 2014年 3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築ストック社会に向けて、中小規模の建築物を対象に火災安全上の問題点と有効な対策を講ずるために今後必要な研究課題を明確化する。 ・既往文献調査により、歴史的建造物や雑居ビル等の中小建築物の火災安全上の課題を整理する。 ・防火上の既存不適格を含む中小の事務所ビルの火災安全上の実態とその対策に関する研究動向を整理する。 ・火災安全上、有効な対策を講ずるために今後必要な知見や研究課題を整理して、報告書として取りまとめる。 (年度活動計画) 11 年度:課題の明確化 12 年度:対策の検討 13 年度:成果のとりまとめ		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無:無 鍵屋浩司(主査:国土技術政策総合研究所)、中村正寿(幹事:大成建設)、 佐藤博臣(ビューローベリタスジャパン)、仲谷一郎(建材試験センター)、能美隆(能美 防災)、長谷見雄二(早稲田大学)、水野智之(TOM防災研究室);以上7名		
設置 WG (WG 名:目的)	なし		
2013 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無: 委員会 HP アドレス:	

項目	自己評価
委員会開催数	6回(年度内計画を含む)
刊行物	
(シンポジウム資料等は	
除く)	
講習会	
催し物	
(シンポジウム・セミナ	
一・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ	
ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	計画通り達成できた。 建築物における物理的劣化(材料等の経年変化)、社会的劣化(既存不適格、初期設計の社会的需要との乖離、用途変更等)、人為的劣化(適切な維持管理の欠如、誤った使用等)をふまえ、建物の長寿命化に対応した防火対策に活用できる知見や今後の火災安全上の研究課題を整備した。
委員会活動の問題点 ・課題	委員会としての活動は終了するが、引き続き検討すべきテーマであると考えられるので、今回整理した課題の中で重要性の高いものについては、小委員会を今後 設置するなどして、テーマを絞って具体的に検討を行う必要があろう。